

◆ 研究所概要



組織名	地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所
所在地	大阪府和泉市あゆみ野2丁目7番1号
職員数	162名 (非常勤・派遣を含み、皮革試験所は除く)

サイト(敷地), 建物	敷地面積	81,840㎡
	建築面積	15,836㎡
	延床面積	37,052㎡

◆ 事業活動の環境への影響 (平成25年度実績)

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所(産技研)は環境改善につながる活動を推進しています。産技研には特に大きな環境影響を及ぼす施設や活動はありませんが、公設試験研究機関という業務の特殊性から薬品、高圧ガスをはじめとする多種多様な化学物質を使用しており、それらの取扱いかんによっては、環境に対して影響を及ぼしうるものと認識しています。

INPUT

電力使用量	:	6,390	千 kWh
都市ガス使用量	:	193	千 m ³
水道使用量	:	22	千 m ³
紙使用量	:	901	千枚

OUTPUT

廃棄物排出量

事業系一般廃棄物	:	8.6	トン
産業廃棄物合計	:	76.3	トン
(内、特別管理産業廃棄物)	:	(0.9)	トン

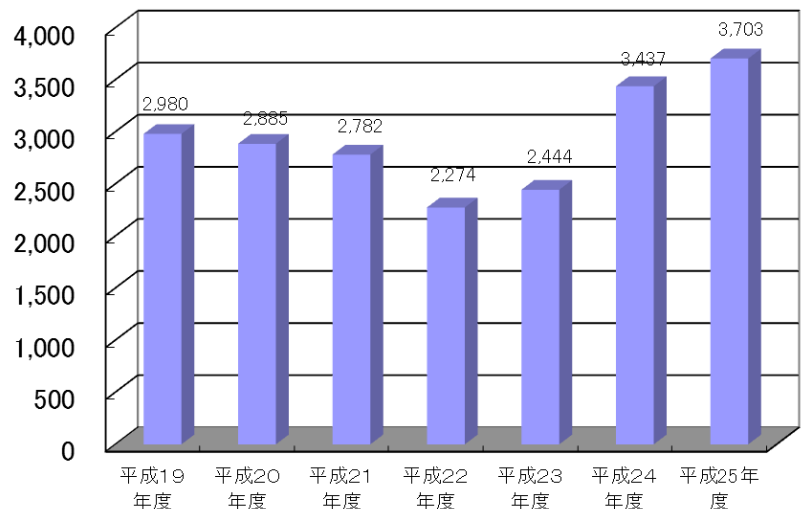
◆ 環境パフォーマンス

過去7年間の電気、都市ガス、水道の使用量を二酸化炭素排出量に換算しました。

産技研では平成22年度までは、ほぼ順調に二酸化炭素排出量を減少させてきましたが、平成23、24年度は前年度に比べ、増加しました。

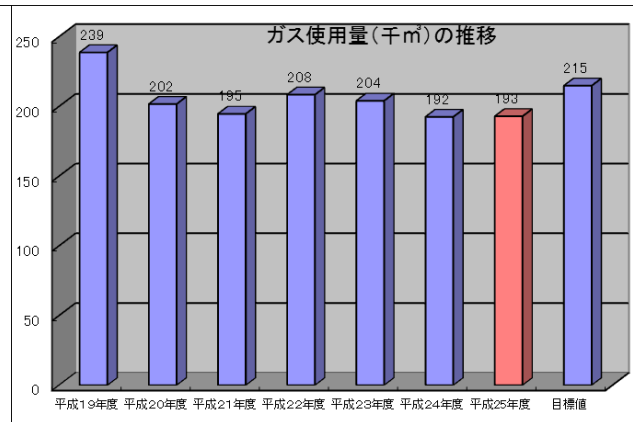
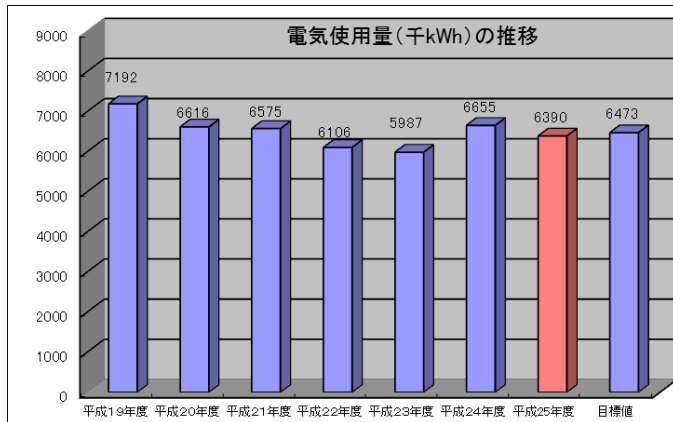
平成25年度は、電気使用量の一層の削減に取り組みましたが、二酸化炭素の排出係数の上昇により、前年度に対して、約8%増加しました。

二酸化炭素排出量(トン) 電気・都市ガス・水道 使用量から換算



◆ 省エネルギーへの取組み

平成25年度は、電力の使用量の一層の削減に向け、実験室で連続運転する機器の運転方法の改善などに取組み、前年度より約4%削減し、目標値（平成19年度比10%削減、6473千kWh以下）を達成しました。ガス使用量は、平成25年度は前年度と同水準の193千 m^3 （目標値215千 m^3 ：平成19年度比10%削減）でした。



◆ 水道使用量削減の取組み

平成25年度の上水道の使用量は前年度に対し、約27%増加し、21.9千 m^3 で、目標値（16.1千 m^3 以下）を達成できませんでした。原因の究明に努め、年度後半には、昨年度並みに使用量が減少しました。

◆ 産業廃棄物削減の取組み

平成23年度から、老朽化した多数の機器や設備の処分に取組んでおり、排出量は、年々増加しており、平成25年度は、更に約52%増加し、目標値を達成できませんでした。

コピー用紙使用枚数は平成24年度に比べ、約5%削減し、901千枚と目標値（925千枚）を達成しました。

◆ 安全管理システムの運用による取組み

「安全管理システム」の運用が軌道に乗り、産技研で使用している薬品、ガス等について保管、使用、廃棄状況が迅速、正確に把握できるようになっています。引き続き職員の安全と地域環境保全を確保するための努力を継続していきます。

